

2023 年度 海外語学実習(朝鮮語) 海外短期研修参加レポート

国際交流学科3年

私はこの研修の中で、日本の日常生活ではできなかった経験を約三週間という短い時間でありながらも非常に沢山積むことができました。60 時間という授業時間の中で文化体験だけでなく専用教科書を使って 100 ページを超える授業を全て韓国語という環境下で受講することができたことにとっても充実を感じ、時間にすると多いようにも感じますが、実際受講していた身からするとあっという間に感じました。

梨花女子大学の言語教育院で韓国語を学びに来た生徒は殆どが日本人という訳でもなく、同じクラスにもロシア、チェコ、ドイツ、台湾という様々な国から学びに来ている人もいたため、最初は意思疎通で韓国語を使うことにぎこちなさも感じました。しかし、授業でペアを組んだり、休憩時間に話す機会も増えてきたことで、自然に韓国語で意思疎通できていたことに自分でも驚きました。母国語同士ではコミュニケーションを取れない人と同じ授業を受けるという経験をしたことがなかったため、一緒に韓国語の授業を受けてその言語でコミュニケーションを取るということにとっても新鮮さを感じました。

そして私自身初めての経験でもあったメンター(トウミ)との交流を通して、一日に授業で学んだことを復習する機会を作れたことも韓国語を効率的に学ぶ上でとても為になりました。トウミ制度は他校の日本人の方と同時に3人で行いましたが、全く日本語を話すことの出来ない同世代のトウミの方と全て韓国語でコミュニケーションをしていくことの難しさ、反対に、同世代だからこそ授業では聞き出せなかった話題や素朴な質問を沢山することができたことがトウミ制度の良さと実感することができました。また、授業のように机に向かって勉強するような形ではなく、毎回3人が食べたいものを決めて夕食を食べながら授業の復習をしたり、韓国での経験を話したりする形だったため、気楽に韓国語の会話力を上達させることができたと思います。

短期研修を通して、コミュニケーションを取るためには「伝える」「聞く」ことを躊躇わない気持ちが一番大切なことだと切に感じました。授業内だけでなく現地人との会話の中でも、積極的に自分からコミュニケーションを取ることの大切さにも気づかされました。また、日本とは違う文化に触れ、その文化を理解し生活に取り入れていく過程で困難なことも自分で乗り越えられたことに自立も感じ、今後の学生生活やその後でも大いに役に立つ一生の経験になったと思います。

